

Winter 2026

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

冬号

2026
Winter





遺

縄文を感じよう

跡公園を知っていますか？



前号の縄文時代特集で紹介した、大鹿窪遺跡を利用した新たな公園「史跡大鹿窪遺跡公園」。眺めの良い公園内には、実際に触れる遺物のレプリカが展示されていたり、遺跡の特徴である集石・配石遺構が再現されていたりします。今回は、この遺跡園地についてくわしく紹介します。

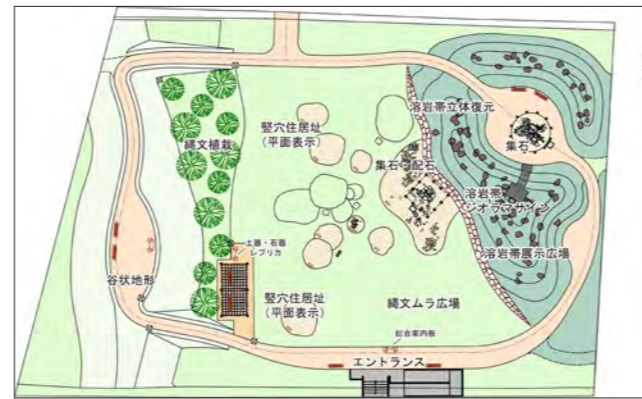
1 国指定の史跡が市民の憩いの場に

おおしかくほいせき

市内の大鹿窪遺跡は、縄文時代の中でももっとも古い草創期の遺跡で、約 13,000 年前のものです。この時期としては、集落の構造や、土器・石器がまとまって出土したことがめずらしいため、平成 20 年 3 月に、国の史跡に指定されています。遺跡自体は保護のために埋め戻されていますが、令和 4～6 年度にかけて「日常的な公園利用の中で縄文文化を体験・学習できる場」として、整備されました。



所在地：富士宮市大鹿窪 1544 ほか
※自家用車がオススメです (P)あり



大鹿窪遺跡公園

2 遺物（レプリカ）に触れられる！

遺跡公園内には、さまざまな見どころがあります。大鹿窪遺跡から実際に出土した矢じりや尖頭器、隆線文土器や爪形文土器などの精巧なレプリカが展示してあり、実際に手で触れることができます。また、富士山から流れ出た溶岩帯や、当時の集石・配石遺構なども再現され、解説パネルと共に楽しむことができます。土を掘り込んで作った、
堅穴住居の平面表示もあり、縄文文化が体感できる場所になっています。晴れた日には遺跡公園から富士山が望め、景色も楽しめます。



大鹿窪遺跡公園



実際に触れられるレプリカ



集石・配石遺構を再現

3 ワークショップで縄文文化に触れよう！

大鹿窪遺跡では、一年を通して縄文時代をテーマに楽しく学べる体験学習イベント「縄文の学校」を定期開催しています。土器づくりや石器づくり、遺跡について詳しく学ぶことのできるツアーなど、子どもから大人まで、それぞれの興味・関心に合わせた企画に参加することができます。

講座の詳細や申し込み日時は、右の二次元コードから富士宮市のホームページにアクセスして、確認してください。多くの方の参加を心よりお待ちしております。



エコバック作りや石器づくりなど多種多様な講座



富士宮市 HP (大鹿窪サイト)
イベント詳細・予約はこちらから

誰かに話したくなる！ 考古学トリビアの壺

縄文から中世にワープ！

中世のセレブの証

中世では、現在の中国や朝鮮半島で作られた焼き物である貿易陶磁器と呼ばれるものがあります。これらは、緑色の青磁や白色の白磁などがあり、当時は非常に珍しく持っているものの権力を示す「威信材」として重宝されました。富士宮では、浅間大社や現在の大宮小学校にあった大宮城跡などで発見されています。



2026 冬号のプレゼントクイズ！ なぜでしょう？

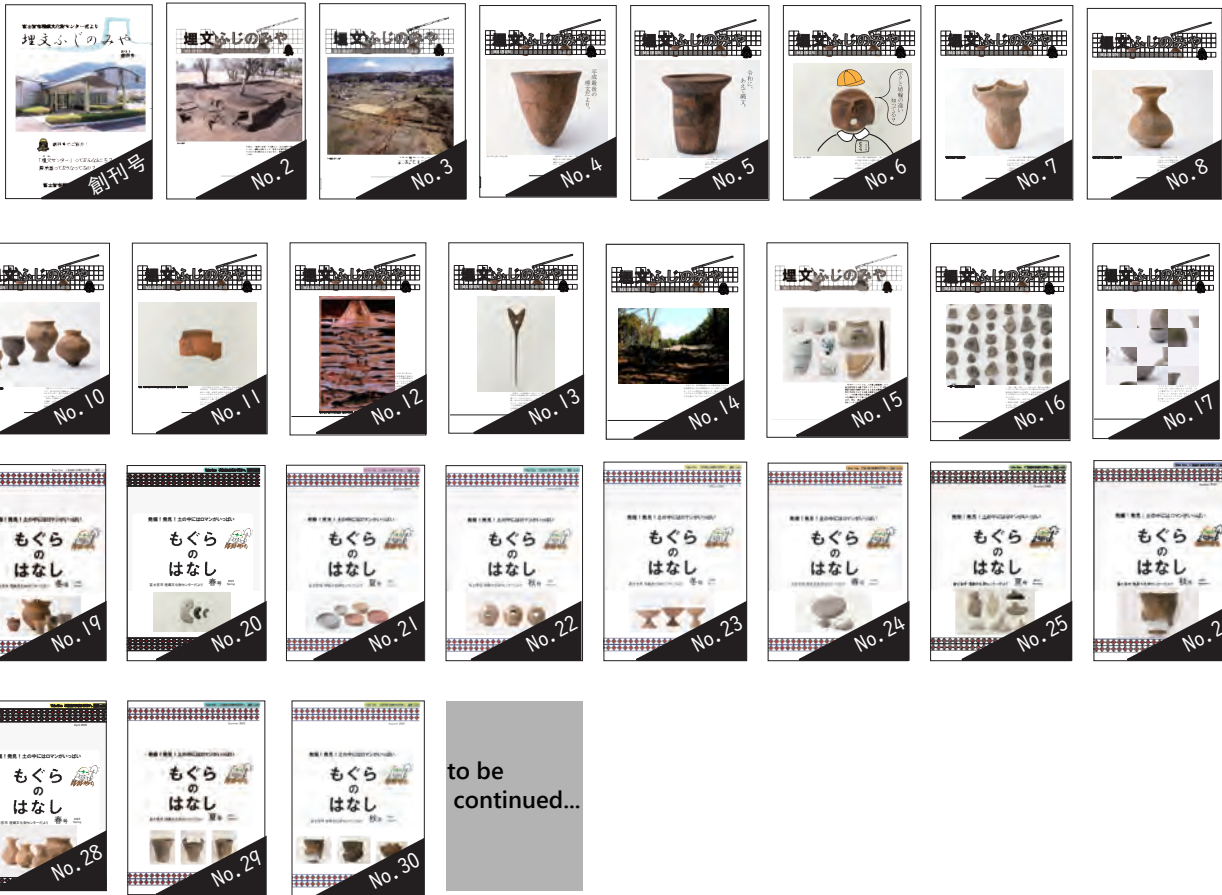
大鹿窪遺跡が国の史跡に指定された理由を知っていますか？選択肢から選んで、スタッフに伝えてください。正解した方には、埋文グッズを差し上げます！

- a. 遺跡から富士山が見えるから
- b. 草創期としては、集落の構造がわかる遺跡が珍しいから
- c. 大きい鹿の化石が出たから



バック ナンバー

既刊号は
富士宮市のHPで
公開中



富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

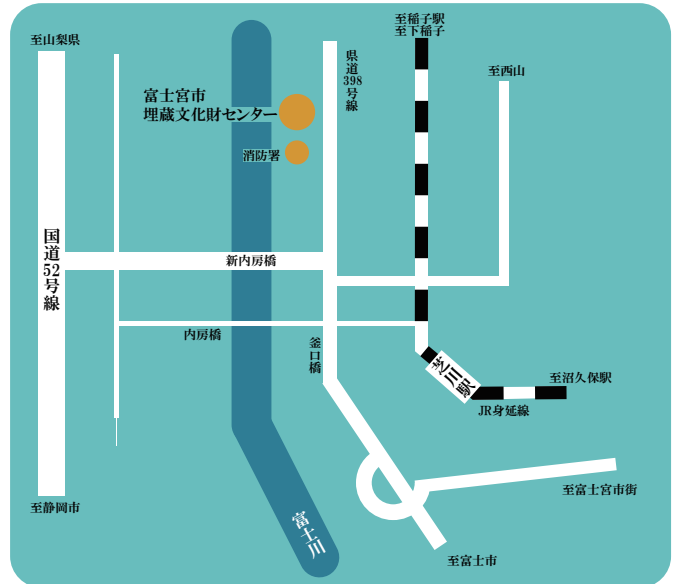
展示室 平日
開館日 * 祝日及び年末年始 (12月28日～1月3日) は休館

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり (無料)

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより
もぐらのはなし 冬号 (通算 vol.31)

令和8年1月

編集 / 発行 富士宮市埋蔵文化財センター